



第46回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会

- 会期：
【ライブ配信】2021年5月15日(土)～16日(日)
【オンデマンド配信】2021年5月15日(土)～6月15日(火)
- 会場：WEB開催
- 大会長：坂佳奈子先生
(公益財団法人 東京都予防医学協会)

ランチオンセミナー 5

セミナーテーマ

ARIETTAで診える世界 ～乳腺エコーのスクリーニングから精査まで～

講師 ▶ 三塚 幸夫 先生

東邦大学医療センター大森病院
臨床生理機能検査部 副技師長

講師 ▶ 國分 優美 先生

公益財団法人 がん研究会 有明病院
画像診断センター 超音波診断・IVR部 副医長

乳腺エコー検査に求められる性能

日常的な乳腺エコー検査を行う上で、Bモード画像診断は益々重要性が増してきている。また、拡大画像や様々なソフトを利用した、腫瘍辺縁や内部構造の精密検査を行うことも必要不可欠になっている。

本セミナーでは、多くの症例を見ながら、画像描出におけるポイントや血流評価、最近のエラストグラフィの自動化計測などについてお話します。最近発売されたARIETTA 750のプレミアムクラスとの違いについても、私見を交えてお示します。

ARIETTA 750を用いたセカンドルックUSの実際

乳房MRI検査では、初回超音波検査で指摘のない部位に造影が認められることがある。このようなMRI指摘病変は、その後の治療方針や術式の決定などに影響を与える可能性がある。MRI指摘病変に対するアプローチとして、まず行われるのがセカンドルックUSである。

本セミナーでは当院におけるセカンドルックUSの実際について、ARIETTA 750を使用した多くの症例を交えながらお話します。

LIVE 配信

2021年5月16日(日) 12:00～13:00

オンデマンド配信

2021年5月31日(月)～6月15日(火)



※学会参加登録のうえ視聴ください。登録方法、詳細につきまして学術集会HPをご確認ください。

<http://web.apollon.nta.co.jp/jabts46/index.html>